

松本市教育研修センターだより

No.15 令和5年6月30日

染み渡る 6月の研修から

恵みの雨が染み渡る6月。教育研修センターでは6講座の研修を実施し、150名以上の先生方にご参加をいただきました。いずれの研修でも、恵みの雨が隅々まで染み渡るように、参加された先生方が、意欲的で熱心な姿で臨み、新たな学びを取り入れようとする姿に元気をいただきました。

その中から、3つの研修の様子をお伝えします。

「授業づくりのポイントを学び、授業実践への意欲を高める」まつもと講師塾2 6/19(月)

2回目(前回4月17日実施)となる「まつもと講師塾」を実施しました。今回は、事前アンケートにもとづき、参加した14名の講師の先生方が「小国語・小社会・小算数・中数学・中社会・中理科・中美術・中保体・特別支援教育」の9グループに分かれ、市の教科等研究推進教員や中信教育事務所・松本市教育委員会の指導主事をアドバイザーとして、「日々の授業で困っていること・悩んでいること」などを相談しながら、授業のポイントについて学び合いました。

アドバイザーの先生方と1対1で相談したり、同じ講師の先生方と語り合ったりしながら、明日からの授業実践への意欲と今後の見通しをもつことができた有意義な研修となりました。



【研修リフレクションシートから】

- ◆色々な“例えば”やしっかりとした“ゴール”を掲示することで、充実した授業になると感じました。美術は具体的なイメージが大切なので、幅広く分かりやすい教材や明確なゴールを定めながら、生徒との対話を大切にして、明日から授業づくりをしていきます。
- ◆「算数は答えを見つけてからが本当の学びである」。考え方を身に付けるために、その子に合ったアイテム(式、関係図、テープ図、半具体物・具体物)を準備していきたいと思いました。…それぞれの多様性を生かし、認め合える学級経営につなげていきたいと感じました。

「苦手分野の克服を目指して！」 理科授業づくりセミナーⅡ 6/16(金)

10名の先生方が参加し、科学博物館長を講師に火山分野と天文分野の研修を行いました。火山分野では、各校へ人数分貸出可能な地域素材である城山の火山灰や上高地・焼岳の火成岩を観察しました。持参した鉱物をタブレットにマイクロスコープを取り付けて拡大すると、その鉱物の美しさに感動の声があがりました。天文分野では、天体望遠鏡のセッティングの仕方の基礎と太陽観測を行い、コツなどを学びました。このようにすればできそうだという手ごたえを実感できる時間となりました。

【研修リフレクションシートから】

- ◆…観察や実験をして子どもと一緒に様々な発見をしたいです。今回知ることができたマイクロスコープや星座盤を駆使して、探究心をくすぐられるような授業をしていきたいです。
- ◆科学は実際に体験する中で、多くの気づきや考え、感動が生まれ、自分からどっぴりと学びにはまるものなんだとあらためて実感しました。科学の世界に触れられるよう、研修などに参加していきたいです。…



「対話を生かした道徳の授業づくり」 道徳の授業づくり研修会 6/23（金）

立命館大学教授 荒木寿友先生による「対話を生かした道徳の授業づくり」の講座を実施し、49名の先生方に参加いただきました。各校1名の悉皆研修でしたが、ぜひ聴講したいと2名・3名（1名対面で2名オンライン）で参加される学校もありました。

【荒木寿友先生のご講演の内容から】

○発問について

基本的には、ゼロからつくる必要はありません。教科書会社が作成した発問を上手に使ってもらえればと思います。唯一の「正しい発問」があるわけではありません。教科書会社によって異なります。ただし、発問の作り方には一定の法則があります…



○読み物教材

読み物教材はあくまで道徳的価値について考えていくためのきっかけとなるものです。場面発問（教材解釈のための問い）と教材から導かれる中心発問だけだと、「読み物教材の登場人物の心情理解に偏った指導」に陥りやすいです。だからテーマ発問（その時間に扱う道徳的価値についての問い：ex 親切とは？自分は何に対して誠実だろう？）を、授業の後半で子どもたちと一緒に考えてみたいですね。

○道徳の授業をどうぞ楽しんでください！

道徳の授業と教科の授業、一番の違いは、道徳の授業は深く考えた結果、わからなくなってもいいということです！道徳的な価値は、正直なところ大人でもよくわからないことが多いです。突き詰めて考えていけばいくほど、？？が出てきます。

【研修リフレクションシートから】

- ◆「テーマ発問」をみんなで考え合うことが楽しみのなってきました。心情理解に重点がいきちな自分でしたので、今更ながら、道徳的価値の理解の大切さを感じました。とてもわかりやすいお話で、実践してみようと思えました。
- ◆教材をもっと深く読み取り、発問を決めだしていきたいと思います。…子どもたちは結構道徳が好きです。お話を聞いて、道徳っておもしろいと思いました。道徳の授業が楽しみになりました。
- ◆教師も生徒も一緒になって「価値」について考えられる実践をしていきたいと思いました。「価値」について生徒たちが「話をしたくなる」ような姿を、たくさん見られる授業のヒントをいただいたような気がします。
- ◆すぐ道徳の授業の準備をしたくなるくらいわくわくしました。特に「中心発問は登場人物の変化があったところ」というのが、とてもわかりやすく、これまで不安だったことが、ストーンと胸におち、勉強になりました。

「令和5年度 松本市全教職員研修 まつもと学びの日」のお知らせ

○期日・時間：7月26日（水）

○会場：松本市教育文化センター（メイン会場）・各学校（オンライン）

○テーマ：「対話」で深める「子どもが主人公」の想い

9:00 開会

9:05 教育長の話 松本市教育委員会 伊佐治裕子 教育長

9:30 基調講演 「子どもが主人公」の哲学

上智大学人間科学部 奈須正裕 教授

11:10 リフレクション 参加者による振り返りの対話を各会場の計画により実施します。

12:00 閉会

※メイン会場で、奈須先生の講演の聴講を希望される方を募集しています！（各校2名限定です）